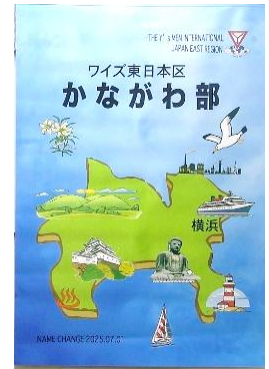




2026-2027 年度主題

国際会長 ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク (FIN)
 “Waking the Sleeping Giant with Blue Music”
 アジア太平洋地域会長 ラチャン・マニカーン (YHIA)
 “Awaking the Asia Pacific with Blue Music”
 東日本区理事 山下 真 (十勝) 「挑戦なくして進化なし」
 ～響け 挑戦の Blue Music～
 かながわ部長 佐藤 節子 (厚木C) “一緒にワイズの未来を
 輝かせましょう” ～今を大切に、常に前進～
 クラブ会長 久保 勝昭 (横浜つまみ)
 “Support Each Other～Enjoy Together”
 「共に支え合い～共によろこびを」



後期高齢者講習 (運転免許証)

横浜つまみワイズメンズクラブ会長 久保 勝昭

2026 年の或る日後期高齢者講習のお知らせのはがきが来た。

何回目か？ 忘れた。多分 3 回目かなと思った。75 歳以上から考えるとそうである。

3 年事の更新だから。誕生日は 8 月 28 日、その前後 1 か月は有効であるとおもった。はがきを見る。

「誕生日の 1 か月前に「更新連絡書」が郵送されますので、誕生日の前後 1 か月の間に運転免許センター又は管轄の警察署等で更新手続きを行って下さい」と書いてある。

更新手続きの前の講習である。これに合格しておくとも更新がスムーズに行くはずである。

内容をみる。認知機能検査[所要時間 1 時間]高齢者講習(実車指導あり)[所要時間 2 時間]の講習内容である。さっそく、前回と同じ「菊名ドライビングスクール」に予約した。

75 歳以上の運転者は認知機能検査を受ける必要があります。記憶力や判断力を測定し、36 点以上のスコアをとると「認知症のおそれなし」と判定されます。

問題①これから、たくさんの数字が書かれた表が出ますので、私が支持をした数字に斜線を引いてもらいます。例えば、「1 と 4」に引いて下さいと言ったときは、下の表のように見つただけ斜線を引いてください。

※この問題は完璧に回答できた

4	3	1	4	6	2	4	7	3	9
8	6	3	1	8	9	5	6	4	
3									

問題②イラストを覚えて回答する。例 牛、機関銃、キジ、バラ、お鍋等 16 種類出てくる。

※イラストを覚えて回答する。12 種類しか回答できなかった。

問題③今、西暦何年、何時に終わる等、時計を見ないで答える問題は完璧に答えた。

実車指導では※女性の教官でしたが、ほぼ完璧であるとほめられた。講習費用：¥10,000

8 月 17 日 (月) 免許書更新 神奈川警察署 9 時～9 時 30 分 無事終了。

私は、免許を取ってから 60 年近くになるが事故を起こした事は一度もない。但し、違反はあるので運転に関して自慢はあまり出来ない。今考えているのが、いつ返納するかです。

買い物などは荷物が重いのでまだ必要である。出来る限り運転はしたいと思っている。

※それには、認知症にならないように日々の訓練と、運転規則を守る事であると思う。

横浜つるみワイズメンズクラブ 8月例会

日時：2026年8月13日（木）PM4時～6時

場所：横浜市鶴見中央地域ケアプラザ・多目的ホール

出席者：久保勝昭, 久米康子, 駒井恵美子, 小崎侑里子
後藤美紀, 中村純子, 松井美津子, 松尾担当主事
村中孝子, 吉本正子, 渡邊光枝欠席者：野辺良一, 横山雄二
「プログラム」

「司会進行」 後藤美紀（副会長）

「開会点鐘」

「ワイズソング・ワイズの信条」 ピアノ：吉本正子

「会長挨拶」 久保勝昭

「報告事項」

1. 7/12(日) PM2時～4時
東本郷ケアプラザ「うたごえ広場」2. 7/17(金) 10時30分～12時30分
北YMCA「うたごえ広場」3. 7/18(土) 2026年度第1回かながわ部評議会
PM3時～5時 中央YMCA

「2026年度総会補足」

2026年度予算について 久米康子(会計)

2026年度事業計画について 中村純子(書記)

「YMCA 報告」松尾担当主事 ご挨拶

〇ちょっと助け隊報告（夏休みで活動中止）

〇YMCA 報告（デイサービスで、洗濯物を畳む時間があり、手際の良さであるという間に作業が完了するそうです。手作りのおやつが美味しいと利用者様から大好評!!）

「連絡事項」

イ、8/21(金) 北YMCA「うたごえ広場」

10時30分～12時30分

ロ、8/27(木) かながわ部納涼例会 PM6時～8時

会場：ロイヤルホール横浜 会費・8,000円

ハ、9月01日（火）第111回Y-Y's協議会

PM7時～8時30分 中央YMCA

※ 担当：つるみクラブ

「閉会点鐘」

(集合写真)

鶴見中央地域
ケアプラザ
「うたごえ広場」

(2026年8月 データ)

在籍会員数	例会出席者数		出席率
13名	メンバー	11名	85%
	ゲスト		
	合計	11名	





鶴見中央地域ケアプラザデイサービス

横浜つまみワイズメンズクラブ 担当主事 松尾

鶴見中央地域ケアプラザデイサービス8月の活動をご報告します。

★8月の保育園来訪の報告です！

今月も近隣の保育園の園児がケアプラザのデイサービスに訪問があり、園児と利用者が楽しく交流の機会を持つことが出来ました。利用者からも「楽しいひと時でした！」、「子供たちから元気をもらえた！」といったお声が聞かれておりました！



★オカリナの演奏による歌を楽しみました！

普段ケアプラザの貸館で来ている団体があります。今回はその中でオカリナの演奏を練習している団体がケアプラザに来て、皆で懐かしい歌を歌い楽しいひと時を過ごしました！皆様からは「大変良かったわ！」といった声が上がっていました！ 以上 報告でした！

～納涼の夕べお手伝いしてきました！～



8月1日（土）鯉ヶ淵公園で盆踊りがありました。金曜の夜よりポールを立ち上げ、土曜の午前中から提灯の飾りつけを手伝いました。ポールに提灯を設置する作業に苦労いたしましたが、なんとか無事設置することができました。

今年は新しい試みの鶴見中央地区社協で開催した「こいダンス部」も参加し例年より賑わい、町会が準備したやきそばやフランクフルトなどがすぐ売り切れになるほどの参加者でした。いつもケアプラザでボランティアしていただいている盆踊りチームの皆さんが素敵な浴衣姿で応援にきておりました。（鶴見中央地域ケアプラザ 横山）



2026-2027 年度 第 1 回 かながわ部 評議会

日 時：2026年7月18日（土）15:00～17:00

会 場：横浜中央 YMCA 6階 606号室

出席者：20名（Zoom参加者3名含む）＋委任9名＝29名

司会 坂口 直樹 部書記

1. 開会点鐘 佐藤 節子 部長

2. ワイズソング・ワイズの信条

3. 聖書朗読・開会祈祷 森山 真治 部担当主事

ペトロの手紙1 第3章11節（横浜 YMCA2026年度基本聖句）

4. 部長挨拶 佐藤 節子 部長

今年度部長方針・スローガンである「今を大切に、常に前進！」「輝いていたい、常に前進を」に付いての考えと4つの事業活動について言及された。

5. 出席者点呼及び評議会成立要件確認

今年度評議会構成員は、29名、議決権者29名（100%）評議会が成立していることが報告された。

6. 議事

・1号・2号議案 2025-26年度事業報告・会計決算報告について、兵藤直前部長と古田直前会長から資料に基づき報告。鈴木監事から会計監査報告があり、いずれも承認された。

・3号議案・4号議案 2025-27年度部長方針と事業計画について・会計予算案について、佐藤部長から今年度方針報告、予算案について古田会計から補足説明がありいずれも承認された。別紙4枚

・5号議案 2026-27年度部役員及び各クラブ 会長（変更案）について 佐藤 節子 部長
若木 一美（鎌倉）東日本区監事（財政）就任に伴う、かながわ部ユース事業主査の齋藤 宙也（横浜）の変更について承認された。

7. 報告・連絡

・部長報告 佐藤 節子 部長から、東日本区役員会の結果は、追って報告するとの説明があった。

・各クラブ会長報告 本年度の方針・スローガン及び主なイベントなどについて発言があった。

8. YMCA 報告

・YMCA イベントについて資料配付と補足説明があり、ワイズの積極的な参加依頼があった。

9. その他

・つづきクラブ紹介パンフレットとプロモーション動画の紹介

10. 監事好評

・佐藤部長の本年度主題である、「輝く」「前進」について言及され、一人ひとりの輝きが部全体の輝きになっていくよう、佐藤部長のリーダーシップに期待したいとの発言があった。



ツルのひとこと



㊦＊近年のドラマ

最近のドラマを見ていて思うことがある。平日の昼間は古いテレビドラマや映画を放送して見る機会が多いのですが、わかりやすい筋書きになっている。特に推理ものや刑事物。ところが最近は内容が複雑になりよくわからなくなることがある。こちらの理解度が年齢とともに落ちている事もあるのかもしれないが？ただ当然ながらドラマによってはおもしろいものもある。

一番顕著に感じるのは今までは一度見損なってもおおよその進行は想像できて全体的に影響はないのだが、今は全く内容の予測や役柄の関連性も含めてわからなくなることが多い。頭を使うのには良いのかもしれないが見ていて疲れる。原因はおそらく作家や脚本家の世代交代したところが大きいのだと思う。そして文字で表現していたので難解にするのが難しかったと思う。今はネット中心になってきたので直感的に表現できて AI により映像も簡単にできることも要因だと思う。これからはますますその傾向は強くなるのでは、最近かなり古い映画（白黒や総天然色のもの出演者もほとんど亡くなっている）とドラマを見たが懐かしく感じた。しかも新鮮に！

（野辺 良一 記）